



「福澤育林友の会」ニュース

第30号 発行日2016年8月1日

福澤育林友の会
東京都港区三田2-15-45 慶應義塾 管財部
TEL:03-5427-1050 FAX:03-5427-1190
<http://ikurin.jp/>



木は希望の”キ”

長 島 昭
(元(財)福澤記念育林会理事長)

ある広報誌に出た楊逸という作家の短文をお読みになった方もおありでしょう。一人で無人島に行かされる時に何か一つしか持って行けないとしたら、あなたなら何を選びますか？この作家は種子（たね）を選ぶというのです。これを読んで私なら木の苗を持って行くと答えたいと思いました。

小さな苗木を一本植えると、私たちはその遠い先にひろがる希望を見ます。以前、三重県にある慶應志木の森創設のときに、「この木を植えても、あなたの生きているうちには役に立ちませんよ」というと人々はかえって喜んで植えるのです、という話を聞きました。その志木の森では、OBたちは自分のためには役に立たない木を熱心に植えていました。自分の生涯を超えて遙か将来の希望が見えるからでしょうか。樹木の苗には未来への夢や希望があります。

全県に慶應の木を！（財）福澤記念育林会の世話を仰せつかったときに私は、全国のすべての都道府県に慶應の木を植えたいと提案しました。慶應は全国から受験者の集まる大学なのに、東京、神奈川、大阪、徳島、大分、長崎など幾つかを除くと、慶應ゆかりの記念物や施設を身近に見ることのできる県はあまり多くありません。すべての県に何か慶應ゆかりのものを設置したい、それには慶應の木が良いと思ったのです。林業三田会員の献身的なご協力でも慶應の森は全国にかなり増えました。将来は沖縄から北海道まで、その地方の塾員や学生が自分たちの手で慶應の木を植える、そして、その木に地元の受験生や子供たちが手で触れる経験ができれば素晴らしいことです。



さらに私の夢は膨らむのですが、慶應のキャンパスのどこかに全世界の木が植えられていれば、留学生たちも自分の国の木に触れることができます。ただ、これは植物検疫で難しいので、せめて世界各国の木で作った板に、慶應で学んだ留学生たちの名前を刻んで、学内の一角に残すことはできないのでしょうか。

福澤育林友の会の会員をもっと増やして、全国に慶應の木に触れられる場所を増やしましょう。

福澤育林友の会の運営について

海瀬 亀太郎
(福澤育林友の会副会長)

福澤育林友の会は「(財)福澤記念育林会」の解散後、当時の理事を中心に有志により運営してまいりましたが、今後の展開を考え、会則に則り、下記の通り世話人を選任し、運営の充実を図る事といたしました。

この体制は当面、下記のメンバーでスタートしますが、出来る限り早い時期に、次の世代を担う方々にバトンタッチ出来ればと願っています。

我こそはと思う方々には、是非とも手を挙げて参画して頂ければと願っている次第です。

記

1. 役員構成 (敬称略)

会 長 渡部 直樹 (慶應義塾環境担当常任理事)
副 会 長 海瀬 亀太郎 (会長が指名)
世 話 人 (会長および副会長が指名)
岸 三郎兵衛
速水 亨
速水 紫乃
海瀬 隆太郎
吉田 正木
会計監事 繁森 隆 (管財部長)

2. 役員役割

- シンポジウム「森を愛する人々の集い」の企画・開催
- 研修旅行の企画・実施
- 友の会ニュースの企画 (年2回発行)



以上

【ホームページ】リニューアルのお知らせ



<http://ikurin.jp/>

スマホからも
対応OK

これまでのホームページは、海瀬様のご好意により、開設からメンテナンスまで全てにおいてご負担いただいていたのですが、ホームページをリニューアルし、平成28年6月17日より事務局が対応することとなりました。

** 随時、最新ニュースも掲載します **

第 15 回「森を愛する人々の集い」に参加して

眞明 圭太
(慶應義塾大学大学院商学研究科修士二年)



私はこれほどまでに木材利用に情熱的で、木育に力を入れている人物を見たことがなかった。講演会の終始、私は彼の話に釘付けになっていた。

6月18日、東京おもちゃ美術館の館長である多田千尋氏をお迎えし「赤ちゃんから始める生涯木育」という題で、講演会が開催された。多田氏は美術館の設立後、木育推進の一環として、



ウッドスタート宣言という運動を開始した。ウッドスタート宣言とは市町村、幼保育園、企業が「生活、教育、ビジネスの中に木を取り入れます」と宣言し、森林資源を活用することで、環境保全・子育て支援を促進する運動である。ウッドスタート宣言をした新宿区では

新生児に木のおもちゃをプレゼンし、Audi ジャパンはショールームに国産材のおもちゃ広場を作成し、大反響を呼んでいるそうだ。



市民が自ら意識的に木材にアプローチせずとも、市民が日常生活を送っているだけで自然に木材と触れ合う機会を持つという点がこの運動のキーポイントではないかと感じた。鉄骨とコンクリートに覆われた都心部が、この運動により徐々に木に囲まれていくことを想像すると、嬉しくて仕方がない。伐採期である国産材の需要を増やすためにも、この運動が日本全土に広まることを強く願っている。

現在、私は大学院にて林業界への政策提言をテーマに研究を行っている。今回、多田氏から学んだ“民間発だからこそできる活動”、“人を巻き込み産学官と連携する重要性”、“木材利用の啓蒙”という3つのポイントを今後の研究に是非活かしていきたい。

平成 28 年度「研修旅行」の案内

平成 28 年 10 月 8 日(土) 日帰り

今年の研修旅行は、より多くの方にご参加いただきたく、平成 28 年 10 月 8 日(土)日帰りで、横浜初等部と湘南藤沢キャンパスを巡るバスツアーを企画しました。

初めの訪問先・横浜初等部では、緑あふれる校庭や木のぬくもりを感じる新しい施設を見学し、初等部生が毎日利用する食堂で昼食をお取りいただきます。午後は、湘南藤沢キャンパスへ移動し、「キャンパスの学生や教職員が主体性を持って未来を創造していこう」という精神のもと企画された「未来創造塾 SBC(Student Build Campus)」等を中心に、秋祭初日をゆっくり見学いただきます。詳細は別紙ご案内をご参照いただき、皆さま奮ってご参加下さい。

記

日 程：平成 28 年 10 月 8 日(土) (日帰り)

締 切：平成 28 年 9 月 9 日(金)

募集人数 40 名に達し次第、締切日前でも募集終了
となります。

費 用： 会 員 : 5,500 円
 非会員(一般) : 6,000 円
 学 生 : 3,000 円

<注意> 8月10日(水)～8月17日(水)は慶應義塾三田キャンパス夏季一斉休暇のため、
この間のお問合せ等の対応はできません。



横浜初等部



SFC

以上

平成 29 年度「研修旅行」の案内

平成 29 年 3 月 19 日(日) ~ 20 日(月)

「慶應志木の森」は本年 3 月で 20 周年を迎えました。平成 29 年 3 月 19 日(日)には関係者をお招きして記念式典を開催することとなりましたので、平成 29 年度の研修旅行は、この記念式典に合わせて前倒しをして実施することとなりました。19 日(日)は「慶應志木の森」20 周年記念式典に参加し、20 日(月・祝)は伊勢神宮を参拝する予定で計画しております。



詳細は 10 月頃ご案内いたしますが、現段階で参加ご希望の方は仮予約を受付けますので、別紙ご案内をご参照の上お申込み下さいますようお願い致します。

平成 27 年度 福澤育林友の会 会計報告

会員：162 名 (平成 28 年 7 月 1 日現在)

平成 27 年度	収 入	支 出	摘 要	
前年度繰越金	4,408,249			会費の口座 振替について 平成 28 年度会費の口座振替予定日は平成 28 年 9 月 23 日(金)を予定しています。
会費	1,375,000		H27 年度会費(151 名分)	
事業参加費	1,244,452		シンポジウム・研修旅行	
利息	791		普通預金利息	
通信費		89,042	ニュース・案内等発送通信費	
事業経費		1,419,833	シンポジウム・研修旅行	
手数料		18,651	会費引落サービス手数料	
当年度収支	2,620,243	1,527,526		
次年度繰越金	5,500,966			

【慶應義塾への寄附】

会則の目的にある「慶應義塾の学校林の保育に関する支援を行う。」ため、年度末の残余金の一部は慶應義塾へ寄附することを予定しております。ご意見がある方は事務局へお寄せ下さい。